

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：モザンビークの風景

Topics

JDS帰国留学生が、観光庁長官に任命されました

- ◆ 5年ぶりに留学生交流イベント（ポットラックパーティー）を開催しました
- ◆ ほっとひと息：モザンビーク



JDS帰国留学生が、観光庁長官に 任命されました

JDS Network Newsでは、活躍する帰国留学生を紹介していますが、今回はキルギス共和国で観光庁長官に任命された帰国留学生をご紹介します。

Usubaliev Maksat (ウスバリエフ・マクサット氏)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科、2016年修了、キルギス共和国、
観光庁長官



出典：[AKIpress News](#)

2024年4月、JDSキルギスの帰国留学生ウスバリエフ・マクサット氏が、キルギス共和国 観光庁長官に任命されました。

ウスバリエフ氏はJDSキルギス8期生として2014年夏に来日し、2016年秋に同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科の修士課程を修了しました。

JDS留学時、文化情報観光省に勤めていた同氏は、帰国後、大統領府市民社会開発・宗教および民族問題政策部第一副部長等の重要なポストを経て、今般、観光庁長官に就任しました。

なお、ジャパロフ大統領が2023年11月に来日した際に結んだ我が国との共同声明をフォローアップするため、ウスバリエフ氏は長官就任後に、観光分野の政府代表団を率いて2024年5月26日から約一週間来日し、我が国の政府関係者及び民間関係者と二国間協力、観光、文化等の分野における協議を行いました。

ウスバリエフ氏が日本留学で学んだ知識を活かし、新たなリーダーとしてキルギスの発展に寄与することが期待されています。

SINCE 1999



Where
Leaders
are made.



JDS

The Project for
Human Resource Development
Scholarship

5年ぶりに留学生交流イベント(ポットラックパーティー)を開催しました

5月21日火曜日、首都圏在住のJDS留学生及び他奨学金プログラムの留学生を招待し、大学や国籍を超えたネットワークづくりを目的とした交流イベントを開催しました。

JICEは、ポットラックパーティー等の交流会イベントを2014年から毎年開催してきましたが、2020年1月以降は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、開催を休止せざるを得ない状況でした。

2019年秋以来、5年ぶりの開催となった今回は、13カ国からの留学生とその家族たち30名が参加しました。



自国の料理を紹介する留学生



クイズの回答を考える参加者たち

参加者は、自身で作った自慢の自国料理やお菓子を持ち寄り、お互いの料理を紹介することでお互いの国への理解を深めました。

また、参加者同士の親交を深めるために、日本をテーマにした国籍混合のチーム対抗クイズ大会も開催しました。留学生と家族たちが一致団結して答えを考える姿が見られ、クイズ大会は大いに盛り上がりました。

留学生からは「他の国の留学生たちと交流できてよかった」、「とても楽しかった。また開催してほしい」等の感想が寄せられました。





国土面積は約79万9000平方キロメートル(日本のおよそ2倍)、人口は約3,296万人のモザンビーク。サンゴ礁やマングローブといった、広大な自然が広がる国です。今回はそんなモザンビークから、おすすめのおやつをご紹介します。



【Matoritori(マトリトリ)】

ピーナッツをじっくり砂糖で煮詰めたMatoritoriは、大人も子どもも大好きなモザンビークおやつの代表選手。サクサクの食感がクセになって、一度食べ始めるともう手が止まりません。どこか懐かしいこの味の記憶を探っていくと、東京名物・雷おこしにたどり着きました。日本が恋しくなったらMatoritori、モザンビークが恋しくなったら雷おこしを食べて、募る想いをそっと胃の奥に流してしまいましょう。

【Chicaba(チカバ)】

モザンビークで話されるチャンガナ語で「Chicaba」と呼ばれるこのおやつ、ポルトガル語では「Mulina」と言うそうです。材料は、ローストしたピーナッツ、砂糖、そしてタピオカ。ピーナッツとタピオカは、10分～20分かけて細かく、細かく砕いていきます。ボリュームたっぷりのChicabaは、朝食に食べるのがおすすめ。朝からエネルギーチャージすれば、暑いモザンビークの夏も乗り切れる・・・かも。



【絶品フレッシュジュース】

海沿いに止まった1台の小さなキッチンカー。コンロはなし。フライパンもなし。そこにはバスケットいっぱいの果物と、年季の入った丸い穴の空いた機械がぼつり。お兄さんが手に取ったサトウキビがじわじわと穴に吸い込まれていくのを眺めていると、程なくして美しい2層のジュースが出来あがりました。このジュースの隠し味は、ショウガです。甘味と酸味と苦味のバランスが絶妙で、なんとも贅沢な一杯。気になるお値段は、100MZN(約250円)です。ごちそうさまでした！

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

6,030名 22カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2023年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<JDS実施国 (JICE)> ※受入開始年順

ウズベキスタン、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル、
バングラデシュ、ミャンマー、フィリピン、キルギス、
タジキスタン、スリランカ、東ティモール、パキスタン、ブータン、
モルディブ、ケニア、セネガル

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、
様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による
JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

7月になり、8月の留学生来日に向けて、各国では現地での日本語研修、来日前のオリエンテーション等が佳境に入っています。

7月は、各国では来年度に受入れする留学生のための事業開始の準備もあり、現地関係者にとっては7月～8月は暑く忙しい月となります。

また、日本国内でも300人を超えるJDS留学生の受入れに向けて、大学を含め各関係者が日夜連絡をとり準備が佳境に入っています。今年も無事、8月下旬頃に予定される歓迎式典を迎えられることを祈るばかりです。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org